

「計画された偶発性」を活かして生きよう！

令和8年がスタートしました。今日は、皆さんが将来を幸せに生きていけるように、心理学者のクランボルツ先生の「計画された偶発性」についてお伝えします。

先生は「これからの時代は、不確実な社会になっていく。その時代を充実して生きていくライフキャリアを生み出す生き方、すなわち『成功する生き方』にはコツがある」と言っているのです。

それを一言で言うと「計画された偶発性」を活かすということです。

今回は、これについて紹介します。

少し難しい言葉ですが、意味はとてもシンプルです。

人生では、思いがけない出来事、つまり『偶然』が必ず起こる。
これからの時代は、その『偶然』を、自ら積極的・計画的につくり出していこう。
そして、その『偶然』からチャンスが生まれる！
それが不確実な時代に成功する生き方のコツなのだ。

という考え方です。

例えば、本校の先生から「出雲崎町でアルバイトがあるよ、タクシーも片道100円で利用できるよ、やってみないか！」と声をかけられたとします。

生徒の中には、「電話かけるの面倒だな」「失敗したら嫌だな～」と思う人もいましたよね。

しかし、そこで、思い切って電話して、やってみたらどうなると思いますか？

「意外、私、できる！」「自分には、この仕事が合っているかも……」と気づいて、周囲からも評価されて、それを切っ掛けにして、良い就職先探しにつながって、それから……

という様に、ドミノ倒しの様に“新たな方向性”が生み出るかもしれません。

小さな勇気から生じた出来事、偶然が、その後の生き方を良い方向に導いていくこともあるます。だからこそ、そのような『偶然』を計画的に作り出していこうということです。

ここで、少しだけ私自身の話をさせてください。

私は、酪農と稲作の専業農家の長男として生まれました。

大学4年生になるまで、将来は農業を継ぎ、農業経営者になるものだと考えていました。ところが、その年に農業を取り巻く状況が急激に変わりました。

不安を感じた私は、農家になるという判断を先延ばしする意味で、大学院に進学しました。

その大学院のガイダンスで、まったく偶然に「教員免許」を大学院からでもとれることを知りました。そこで、ガイダンス後の予定もなかったのも、私は会場に残って説明会参加しました。「せっかくだから取ってみようかな～」と軽い気持ちで、教育学部にも通い始めました。その結果、教員免許を取得し、農業高校で牛や豚や鶏を教える農業教員になりました。

その後、幾つかの選択を繰り返す中で、今、こうして校長として、大学生の時にはまったく想像していなかった、この立場になり、今、こうして皆さんにお話をしています。

人生は「始めにゴールを決めて、そこに向かって一直線に計画通りに進んでいく」そんな単純なものではありません。たまたま目の前に現れた『偶然』の出来事が、その人の人生の枝分かれをつくり、その『偶然』が人生の80%をも決定していくと言われています。

また、人生は小さな枝分かれの連続でもあるので、普段と違う小さな枝分かれを積極的につくり出して、より良い『偶然』を生み出し、選択の幅を広げていこうということでもあります。

クランボルツ先生は、こうも言っています。

「そのようにして作り出した『偶然』を『生かせる人』と、『活かせない人』がいる。」
活かせる人になるには、次の5つのスキルが大切だ！

そのように言っているのです。

では、その5つのスキルを見ていきましょう。

- 1つ目は 好奇心。
「おもしろそう」「ちょっとやってみよう」「少し知ってみよう」という気持ちです。
- 2つ目は リスク・テイキング。
その「おもしろそう」なことに、リスクを感じても挑戦してみようということです。
- 3つ目は 楽観性。
これは、一見、ネガティブに見えることをポジティブに捉え直し、前向きに考える力です。
2学期最後の式でお話した リフレーミング もこれに近い言葉です。
- 4つ目は 柔軟性。
うなくいかないとき、「あー終わりだ」と考えるのではなく、柔軟に、頭を柔らかくして、「別のやり方もやってみよう」と動く力です。
- 最後、5つ目は 粘り強さ。
簡単に諦めないぞ、やり続けるぞー という力です。

特に、もうすぐ卒業を迎える皆さんへ。

これから先、不確実性の高い社会に世界が突入し、その中で生きていくことに、不安になることもあるでしょう。

でも、人生は、就職先・進学先と、その道が決まったら、そのレールに乗ってゴールまで一直線に生きていく、そんな単純ではありません。

好奇心とリスク・テイキングで動いて、より良い『偶然』を積極的につくり出してください。その『偶然』を、楽観的、柔軟的に捉えて、また、仮にそれが良い結果に繋がらなくても、そのことに粘り強さを発揮して取り組み、前向きに人生の扉を開いていってください。

在校生の皆さんも、焦る必要はありません。

今日からの授業、今日からの出会い、今日からの挑戦を、一つ一つ、大切にしてください。

それが、未来につながる「偶然」を生み出すものと確信しています。

3学期も、好奇心をもって、リスク・テイキングを楽しみ、前向きに、柔軟に、そして粘り強く、一緒に歩いていきましょう。